

ソーシャルメディア統合管理ツール 「エンゲージマネージャー」 新バージョン追加機能項目

Produced by Tribal Media House, Inc.



2015年11月11日

■ 目次

● 新機能

- ・全体に関わる新機能
 - 英語表記対応

・運用に関わる新機能

- プロフィール・カバー画像変更
- ユーザー権限に“アナリスト”を追加
- 投稿の種類でソートできる機能を追加
- Twitter受信ボックス内の一括処理機能追加
- Facebookコメントワークフロー機能追加
- 投稿作成画面のメモの更新通知メール

・効果測定に関わる新機能

- 投稿一覧のリアルタイムアップデート機能追加

● 仕様変更

- ・全体に関わる変更点
 - ダッシュボード

・運用に関わる変更点

- カテゴリ、ハッシュタグ登録・編集
- 承認者へのアラートメール機能追加

・効果測定に関わる変更点

- ツイートの分析（Reply有り／抜き）
- YouTubeの効果測定データの追加

新機能
(全体に関わる新機能)

■ 英語表記対応

■ 旧バージョン



Engage Manager

ログインID (メールアドレス)

パスワード

記憶させる

ログイン

パスワード再発行

■ 新バージョン



Engage Manager

日本語 英語

エンゲージマネージャーにログイン

ログインID (メールアドレス)

パスワード

IDを保存する

ログイン

パスワードを忘れた場合はこちら

■ 解説

旧バージョンでは、日本語表示のみのご利用でしたが、新バージョンでは、ログイン画面において、表示言語の切り替えが可能となります。（日本語／英語）海外の担当者の方にもご利用いただけます。

新機能

(運用に関わる新機能)

■ プロフィール・カバー画像変更・予約機能

■ 旧バージョン



※これまではFacebookページ、Twitterアカウントへ直接アクセスいただき、変更するひと手間がありました。

■ 新バージョン



■ 解説

旧バージョンでは、公式から、プロフィールアイコン画像・カバー画像の変更を行う必要がありましたが、新バージョンでは、エンゲージマネージャーから、画像の変更を行えるようになりました。（予約投稿・承認投稿も可能）
 ※Facebookは、カバー画像のみ変更が可能です。Twitterは、カバー画像とプロフィール画像の変更が可能です。
 キャンペーン開始時や季節に合わせて画像を予約で変更するなどのシーンでご活用いただけます。

■ ユーザー権限に“アナリスト”を追加

■ 旧バージョン

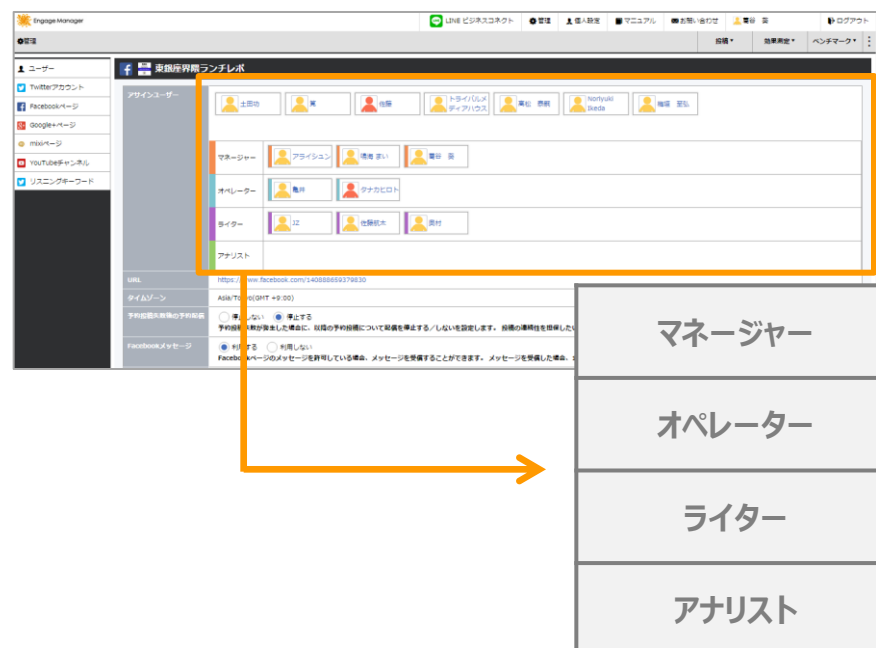


承認者権限あり

承認権限なし

承認投稿のみ

■ 新バージョン



マネージャー

オペレーター

ライター

アナリスト

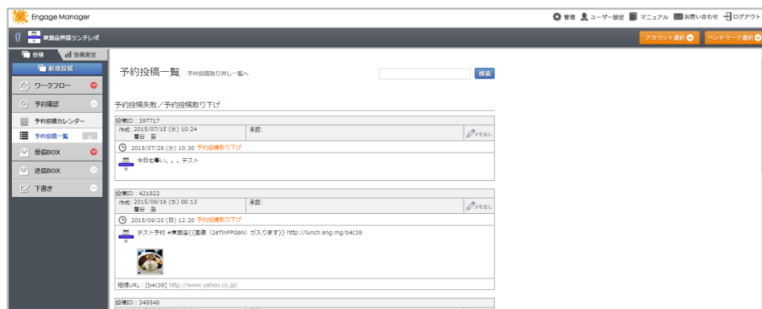
■ 解説

旧バージョンでは、ユーザーの権限が、「承認権限あり」、「承認権限なし」、「承認投稿のみ」の3つの権限でした。
 新バージョンでは、ユーザーの権限が、「マネージャー」、「オペレーター」、「ライター」、「アナリスト」の4つの権限になりました。
 (旧「承認権限あり」⇒新「マネージャー」、旧「承認権限なし」⇒新「オペレーター」、旧「承認投稿のみ」⇒新「ライター」)

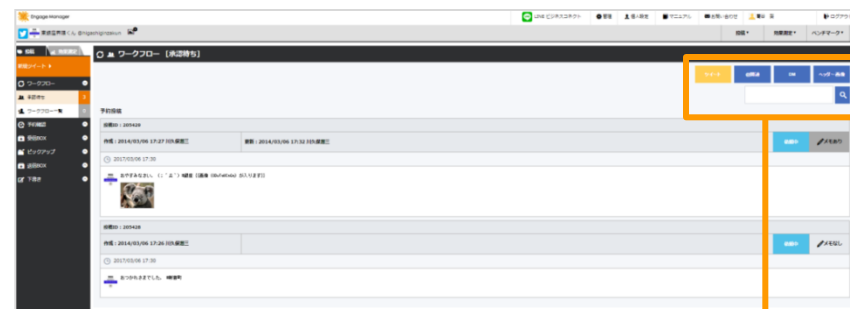
旧バージョンの3つの権限に「アナリスト」が追加された形です。「アナリスト」は、効果測定のみご利用いただける方です。
 他部署に分析担当の方がいらっしゃる際は、運用に触れることなく、ご利用いただけます。

■ 投稿の種類でソートできる機能を追加

■ 旧バージョン



■ 新バージョン



■ 解説

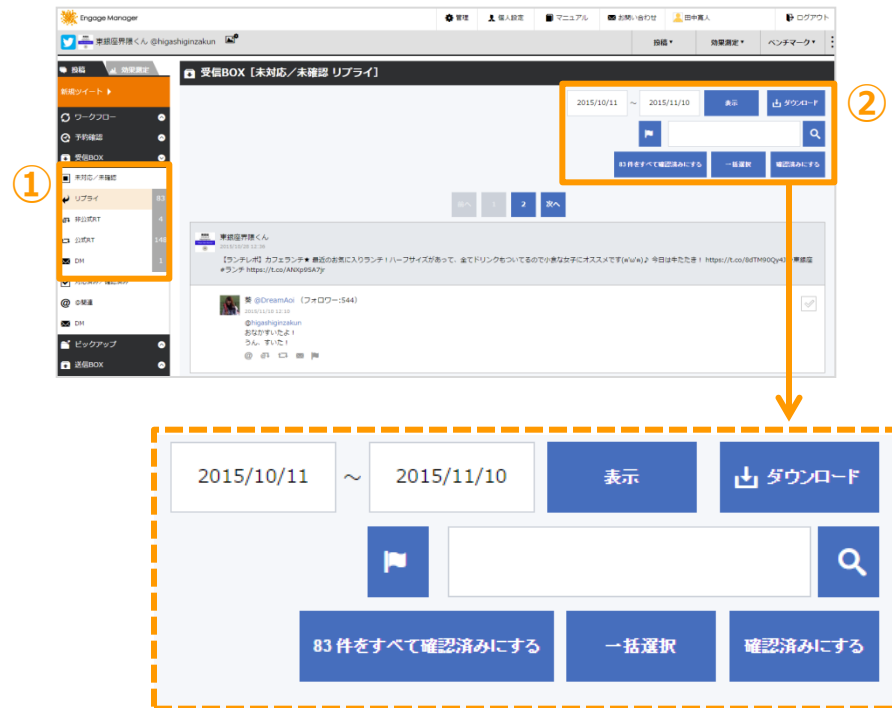
旧バージョンでは、「予約一覧」と「ワークフロー一覧」において、予約投稿や承認ワークフロー投稿が、すべて一覧で並んでいましたが、新バージョンでは、「予約一覧」「ワークフロー一覧」において、「投稿」、「コメント」、「メッセージ」「カバー写真」、「ツイート」、「@関連」、「DM」、「ヘッダー画像」など、確認したい投稿形態にソートをかけて表示することができるようになりました。必要な投稿形態の投稿を以前よりもスムーズにご確認いただけるようになりました。

Twitterの受信ボックス内の一括確認機能の搭載

旧バージョン



新バージョン



解説

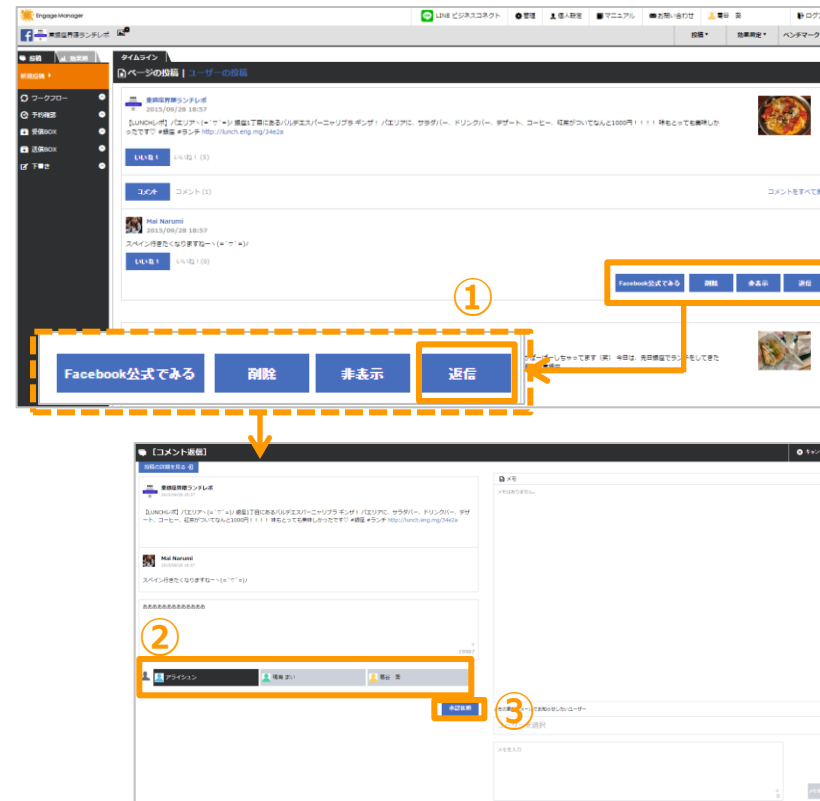
旧バージョンでは、受信ボックスの「未確認」フォルダ画面に表示されたツイートの「一括選択」は可能でしたが、新バージョンでは、「未確認」フォルダ内のすべてのツイートを一括で確認済みにすることができるようになりました。以前は、「未確認」フォルダに残っているツイートすべてを確認済みにする方法はなく、画面に表示されているツイート分の「一括選択」の後、「確認済み」へ移動という方法しかなく、処理するのに、時間がかかっていましたが、新バージョンでは、「未確認」フォルダ内にあるツイートを一括で「確認済み」に処理できるようになりましたので、確認済みにする時間の短縮を実現しています。RTキャンペーン等を実施した後の、公式RTを確認済みにする時にご活用いただけます。

Facebookコメントワークフロー機能追加

旧バージョン



新バージョン



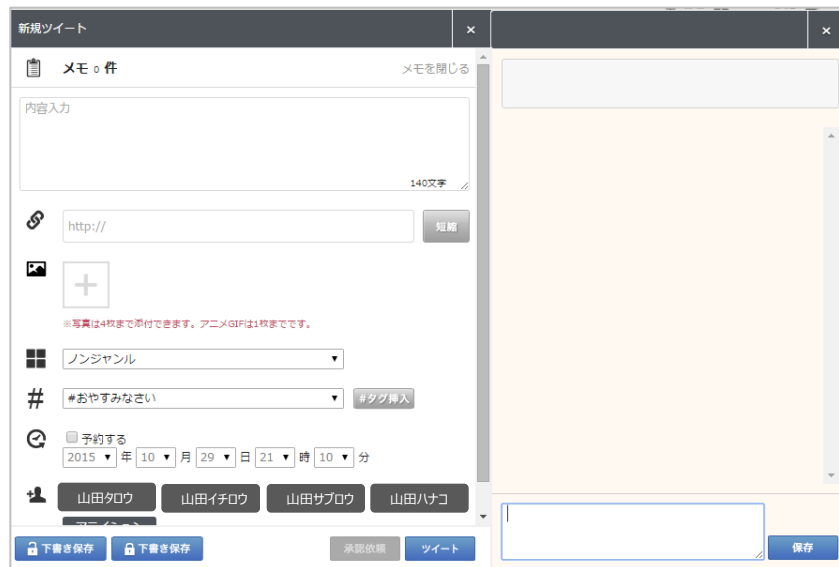
解説

旧バージョンでは、ユーザー権限にかかわらず、コメント返信ができていましたが、新バージョンでは、ユーザー権限（投稿権限）同様に、コメント返信ができるようになりました。ライターは、コメント返信するために、マネージャーの承認が必要となるよう、ワークフロー機能を実装しました。コメント返信時の確認がスムーズになります。※コメント返信の際は、下書きと予約はできません。

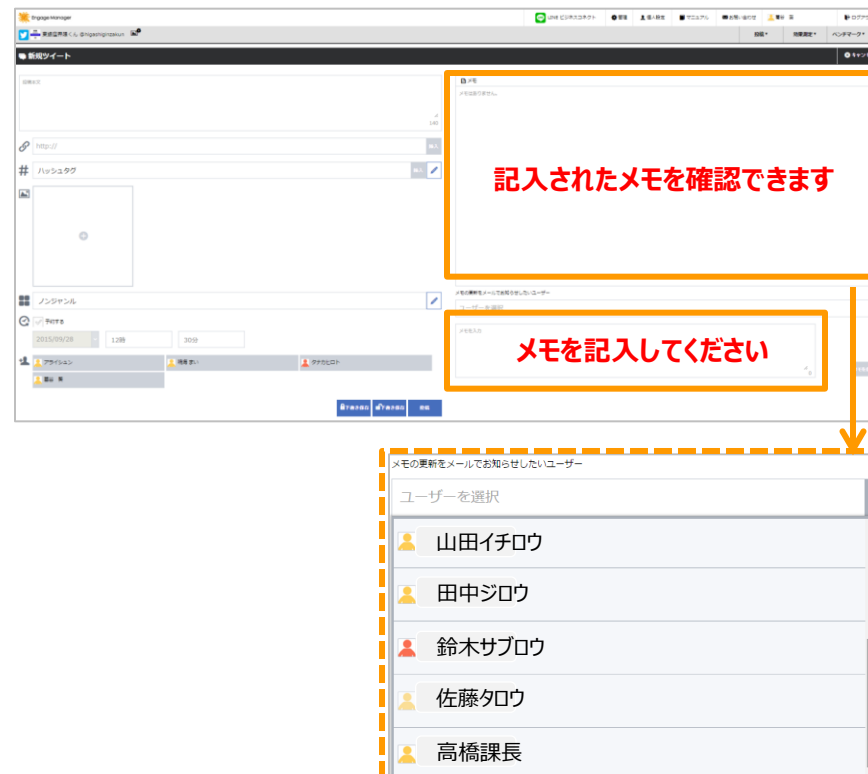
ワークフロー機能を利用して、返信する場合には、「返信」をクリックし、コメント返信作成画面が開きますので、返信文を入力後、承認者を選択し、「承認依頼」をクリックしてください。

■ 投稿作成画面のメモの更新通知メール

■ 旧バージョン



■ 新バージョン



※任意で指定したユーザーに対して、メモをメールで通知できます。

■ 解説

旧バージョンでは、メモを保存して、ワークフローをすることはできましたが、メモの更新情報は通知されませんでした。新バージョンでは、メモの更新情報を指定のユーザー宛にメールで通知させることが可能です。指定ユーザーを選択し、「メモを保存」をクリックした時点で、通知されます。複数の運用担当者で投稿を作成される際に、ワークフロー承認者以外にも、メモ情報の更新を知らせることができるので、情報共有がスムーズになりました。

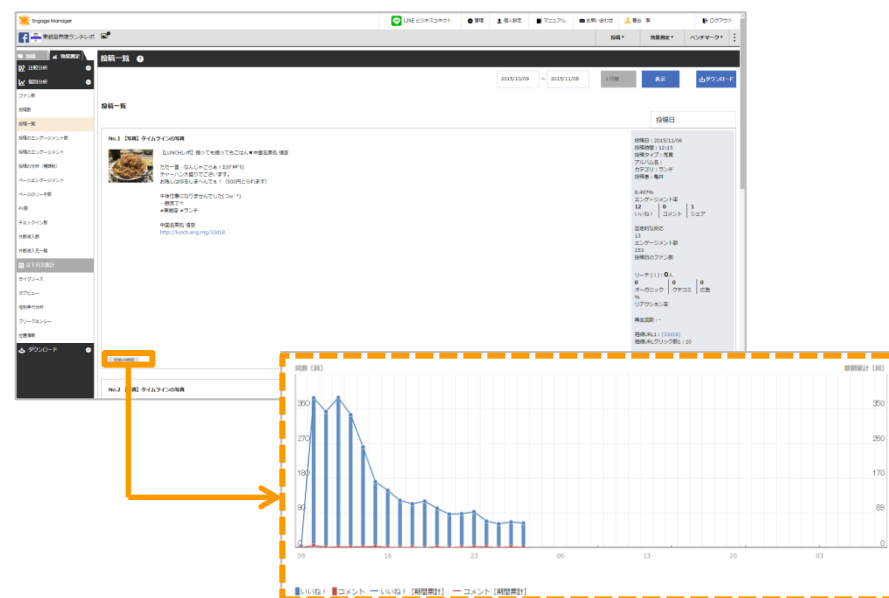
新機能
(効果測定に関わる新機能)

■ 投稿一覧のリアルタイムアップデート機能追加

■ 旧バージョン



■ 新バージョン



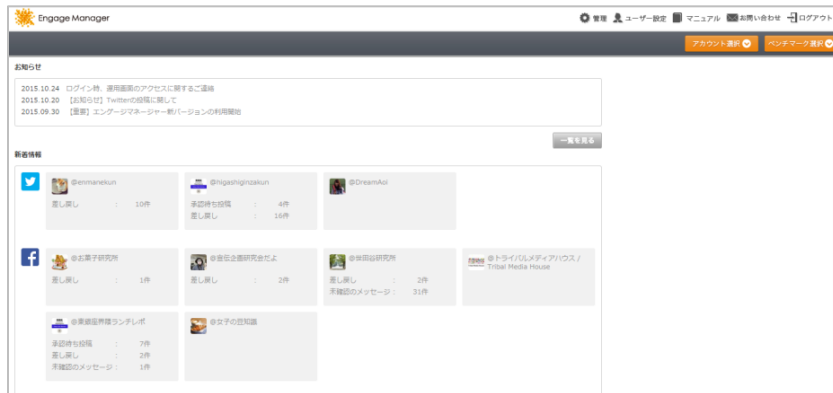
■ 解説

旧バージョンの「投稿一覧」では、前日に獲得したエンゲージメント（いいね！コメント、シェア／RT、リプライ、お気に入り）を表示していましたが、新バージョンでは、自社アカウントの「投稿一覧」にて、投稿した時間を軸に、48時間で獲得したエンゲージメントを、獲得したタイミングでグラフに表示するようになりました（リアルタイムアップデート）。今までは、投稿に対するエンゲージメントは、翌日に獲得したエンゲージメント数のみの把握でしたが、投稿してからのエンゲージメント獲得タイミングが明らかになることによって、次回の投稿タイミングのPDCAのご参考にしていただけます。※自社アカウントのみの項目です。Twitter、FacebookのAPIデータの取得に依存します。

仕様変更
(全体に関わる変更点)

■ ダッシュボード

■ 旧バージョン



■ 新バージョン



※「+」ボタンをクリックして、追加してください。

■ 解説

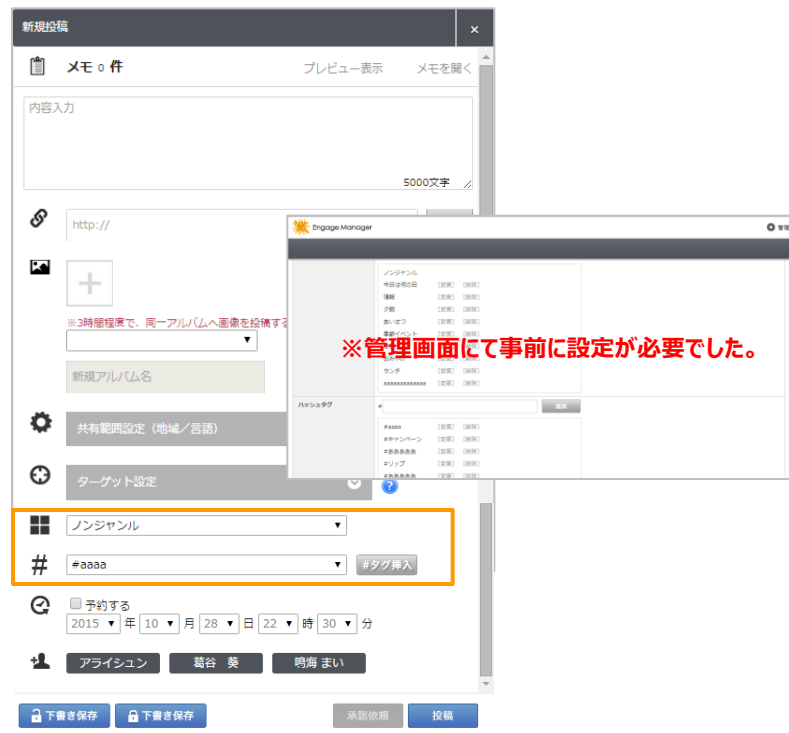
旧バージョンでは、運用権限のあるアカウントがダッシュボードに表示されていました。また、承認依頼、コメントなど権限にかかわらずすべてを表示していましたが、新バージョンでは、カード（アカウントの表示）をカスタマイズで表示させることが可能になりました。「+（プラス）」ボタンをクリックすると、権限があるメディアのアカウントが表示されます。必要な、「承認依頼、ワークフロー、メッセージなど」必要な項目のみを表示させることができ、カードの並びもカスタマイズができますので、自分の運用スタイルあわせたダッシュボードを作ることができます。

※表示させなくても、運用は可能です。

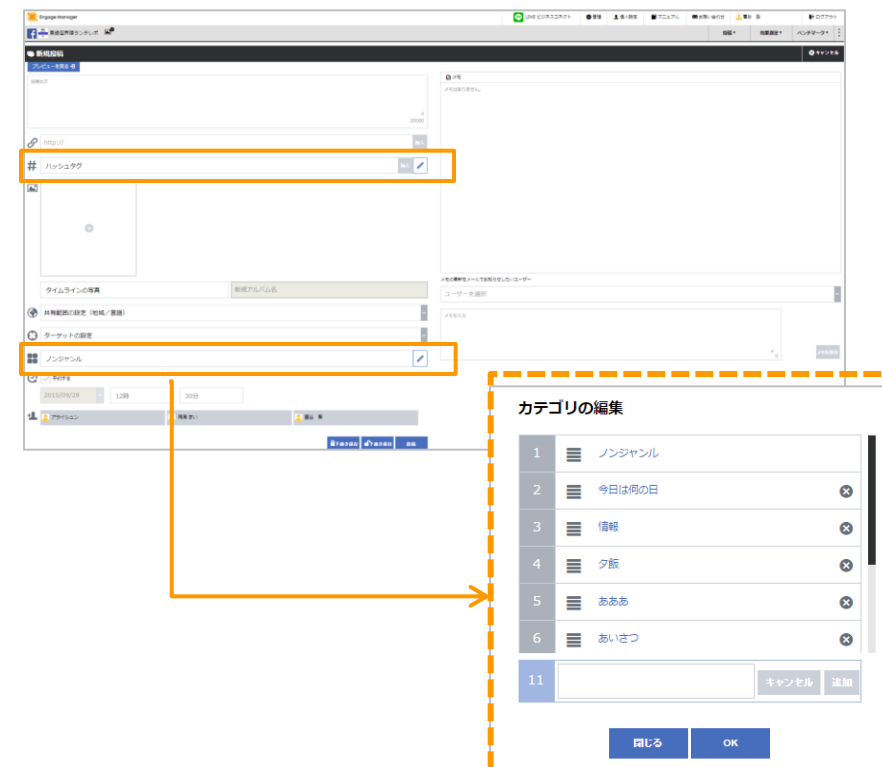
**仕様変更
(運用に関わる変更点)**

■ カテゴリ、ハッシュタグ登録・編集

■ 旧バージョン



■ 新バージョン



■ 解説

旧バージョンでは、「管理」画面で、カテゴリ、ハッシュタグの登録・編集を行う必要がありましたが、新バージョンでは、投稿画面から、カテゴリの登録や編集を行えるようになりました。また、投稿画面において、カテゴリのプルダウンの並び順をお好みで変更できるようになりましたので、よく使うカテゴリ、ハッシュタグは、選択しやすいように、一番上に、移動いただくとプルダウン時の選択が容易となります。

■ 承認者へのアラートメール機能追加

■ 旧バージョン



[アラートメール通知先：投稿記事作成者]

※イメージ
【予約投稿エラー】EngageManager
アカウント：[f]●●アカウント
投稿内容：ああああああああああ

※作成者には、予約投稿エラーのメールが届くが承認者には、メールが届かない。

■ 新バージョン



[アラートメール通知先：投稿記事作成者]

※イメージ
[Engage Manager] 予約投稿失敗
(●●アカウント)
アカウント：[Facebook] ●●アカウント
予約日時：2015/10/● 21:00:00
投稿内容：ああああああああああ

※作成者と承認者共に、予約投稿エラーのメールが届く。

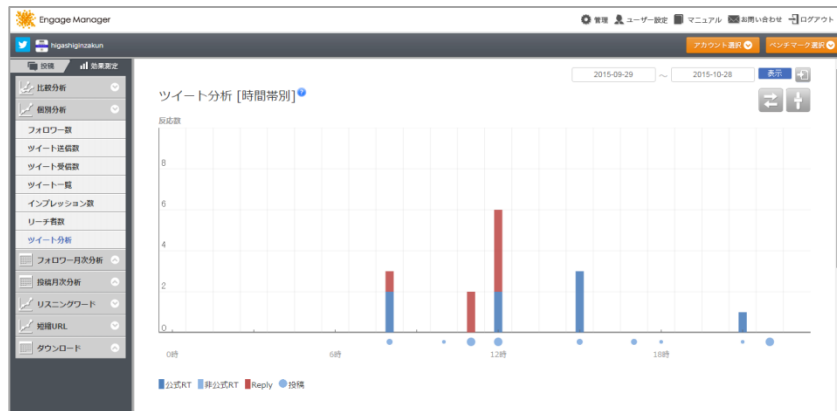
■ 解説

旧バージョンでは、予約投稿が失敗した場合のアラートメールが、作成者のみに送られ、承認者には送られていませんでした。新バージョンでは、作成者と承認者共に、アラートメールが送られるようになりましたので、予約投稿失敗への気づきが以前よりもスムーズになり、再投稿へのフローが迅速になります。

仕様変更 (効果測定に関わる変更点)

■ ツイートの分析 (Reply有り/抜き)

■ 旧バージョン



■ 新バージョン



■ 解説

旧バージョンでは、「ツイート分析」にて、エンゲージメント率の算出に、 $(RT + \text{リプライ}) \div \text{ツイート数}$ を用いていましたが、新バージョンでの算出式が、 $(RT + \text{リプライ} + \text{お気に入り}) \div \text{ツイート数}$ (有り/Reply抜き) となりました。分子に、お気に入りが含まれる点と、ツイート数にリプライを含ませるか否かを選択できる点が変更になりました。リプライを多くされるアカウントは、ツイート数が多い分、ツイートの母数が増えてしまいますので、エンゲージメント率が低く計算されてしまう傾向がありましたが、運用方法に合わせ、Reply有り、抜きの切り替えができますので、ベンチマークとの運用方法に合わせてご確認ください。

■ YouTubeの効果測定データの追加

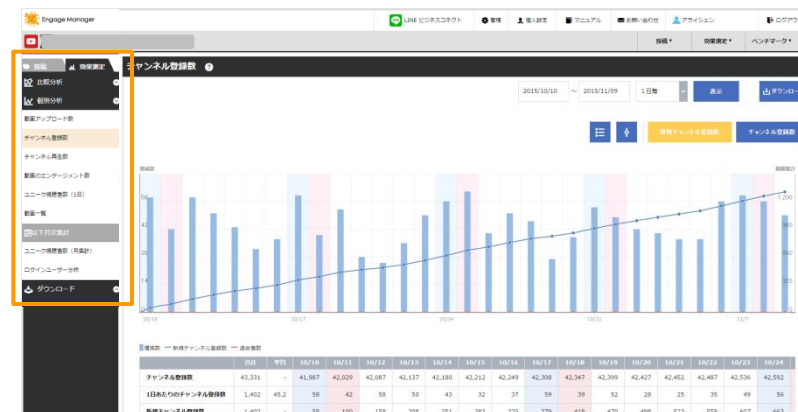
■ 旧バージョン



【項目】

- ・動画アップロード数
- ・チャンネル登録数
- ・チャンネル再生数
- ・動画一覧

■ 新バージョン



【項目】

- ・動画アップロード数
- ・チャンネル登録数
- ・チャンネル再生数
- ・動画のエンゲージメント率
- ・ユニーク視聴者数 (1日)
- ・動画一覧
- ・ユニーク視聴者数 (月集計)
- ・ログインユーザー分析

■ 解説

旧バージョンでは、自社とベンチマークアカウントで、取得できる項目が同様でしたが、新バージョンでは、自社アカウントで取得できる項目（動画のエンゲージメント数、ユニーク視聴者数、ログインユーザー分析など）が増えました。※YouTubeアナリティクスからのデータを反映しています。